

生物多様性棚田活動戦略(骨子)

～NPO 法人がつくる棚田エコ戦略～



1. 趣旨(目標年度)

計画目標 10年(平成35年度)

※5年ごとに見直しを図る。



2. 生物多様性とは

生物多様性ひょうご戦略との整合

3. 棚田に関わる活動団体

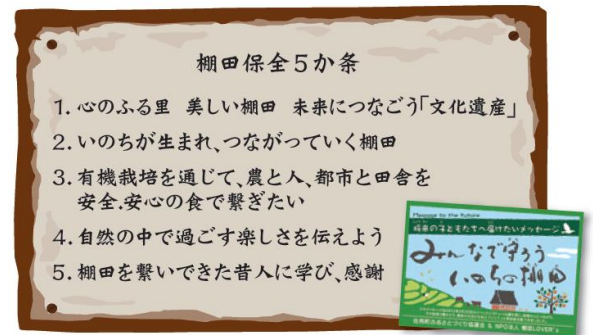
リストを作成

→地域団体(地権者)との連携が必要条件

4. 基本理念

『みんなで守ろう いのちの棚田』

→棚田保全5か条との整合



5. 活動計画

(1) 環境モニタリング調査の実施 (調査回数 50回)

調査は数年行い、モニタリング調査をしながら、順応的にビオトープづくりを行う。

(2) 棚田活動カルテの構築 (カルテ作成地区数 10地区)

経年の変化がわかるように棚田活動カルテを作成し、その変化を整理する。

(3) 調査体制の確立およびリーダーの育成 (調査スタッフ数 50人)

調査体制を確立するとともに、各調査を行うためのリーダーを育成する。



6. 活動戦略



A 棚田エコ学園の創設(エコ学園のコースは右のとおり)

B 棚田エコ学園生き物コースの実践と他地区への展開

C 棚田エコ学園を通じた棚田地域の活性化

D 棚田を中心とする都市農村交流文化の確立

E 棚田サミットの兵庫県開催

→生物多様性からまちづくり(食・サービス)へと展開

※その他、関係者の意見を取り入れて作成を進めます。



農 つながる広がる棚田の想い
～ちよつと行ってみよう、思い出作ろう～

食 たなごころ 棚田のおいしさ、掌

生物 いのちでつながる親子体験

森 森に人、物、金を入れ、森を元気にして
2000年続くいのちの棚田を作ろう!

地域 里山と棚田がつむぐ
人と心の地域づくり